やなせたかし生誕100年祭 〜愛と勇気をありがとう〜

７月２１日、市立やなせたかし記念館アンパンマンミュージアム周辺で、やなせたかし先生の生誕100年を祝う**やなせたかし生誕100年祭〜愛と勇気をありがとう〜**が開催されました。

台風の影響により、セレネ広場で行うイベントは中止となりましたが、やなせ先生のゆかりの地を巡るツアーやフラフ作り、やなせうさぎフィギュア造り、地元の園児・児童による合唱と演奏、大和田りつこさん・ドリーミングによるステージコンサートなどが行われました。

市内外から多くの方が訪れ、やなせ先生の生誕100年を盛大にお祝いしました。

▲生誕１００年祭記念フラフに色を塗る参加者

８月１０日、１１日の両日、土佐山田スタジアムで、**第１４回香美市少年野球大会**が開催されました。

香長支部から８チームが参加し、暑さに負けない熱戦が繰り広げられました。今後もさらなる活躍を期待しています。

第１位　嶺北ジュニア
第２位　岡豊ライジング
第３位　山田ジュニアーズ、野市ファイヤーズ

▲ちびっこイベント　うちわづくり

８月２４日、龍河洞で**第１９回龍河洞まつり**が開催されました。

会場ではフリーマーケットやステージイベントなどが行われました。中でも、ちびっこイベントのうちわづくりは盛況で、参加した子どもたちは目を輝かせながら、シールなどの飾りを選び、思い思いのうちわを作っていました。

夕方には洞内の照明を落とし、ちょうちんを持って入洞する『暗やみ体験ツアー』が無料で行われ、老若男女を問わず多くの人が参加しました。

フィナーレに行われた打ち上げ花火の大きな音が山間にこだまし、大輪の花火に観客からはたくさんの拍手が送られました。

▲美しい歌を披露したミントグリーンブレスの皆さん

８月２４日、吉井勇記念館隣の猪野々集会所前広場で、**星祭の地域イベント**が開催されました。

これは、吉井勇が初めて猪野々を訪れた旧暦の七夕に合わせて行われているものです。当日は、猪野々地区老人会の皆さんにより、昔ながらの七夕飾りとともに、松明（たいまつ）や竹キャンドルが飾り付けられ、夕暮れの猪野々の景色を温かく彩りました。

また、ステージでは多様なグループが演奏し、参加者を楽しませていました。

香美市立美術館 アートの窓

小さな布の表現者 伊与木潤子展 昭和の時を駆ける創作押絵の世界

１０月２６日（土）〜１２月２２日（日）

休館日／毎週月曜日（但し、月曜日が祝日の場合は開館し、翌日休館）

香美市立美術館では、**『小さな布の表現者　伊与木潤子展　昭和の時を駆ける創作押絵の世界』**を開催します。

伊与木潤子は、昭和21年に四万十町に生まれ、理容店を営みながら独学で押絵をはじめ、生活感あふれる独自の世界を小さな布を継ぎ合わせて表現しています。

２００６年から土佐和紙工芸村のギャラリー**ぽたにか**において何度か個展を開催し、大作の『１０８人の老人』『千のちから』『日曜市の人々』『昭和の婚礼』など昭和の暮らしや情景をよみがえらせています。

２０１２年には、日本ヴォーグ社主催のキルトの祭典『私の針仕事展』に招待され、全国各地の百貨店でその作品が展示され、好評を得ました。

布で表現された細かい部分にまで思いがこめられた作品は高く評価され、古き良き時代をしのぶ人々の気持ちに寄り添う優しさにあふれています。

一体一体丹念につくられた人物像は、何百人もの群をなし、大きなテーマを持つ作品へと昇華され圧倒されるような迫力を持っています。従来の手仕事の枠を超えた伊与木潤子の創作押絵をぜひ多くの方々に見ていただきたいと思います。過ぎ去った昭和の記憶が皆さんの胸によみがえり、なつかしい思い出に浸っていただけるのではないでしょうか。（館長　都築房子）

▲へんろの旅人　▲日曜市の人々(部分)　▲昭和の婚礼(部分)

吉井勇記念館だより

吉井勇の土佐音頭の紹介

吉井勇の『ゴンドラの歌』はよく知られていますが、左に紹介する『土佐音頭』はあまり知られていません。

紙面ではメロディーの紹介はできませんが、『よさこい節』や『南国土佐を後にして』と重ねながら、曲を想像し、歌詞を味わってください。

また、勇は土佐音頭について次のように記しています。

『土佐の韮生の山峡にあつた、私の草庵の炉端では、村の人達が集まつて来て、みんなよく酒をのみながらこの唄をうたつたものであつた』（随筆「百日草」より）

土佐へ来るなら浮かれてござれ、浪も音頭の拍子とる
同じ乗るなら浦戸の出船、櫓ではやらずに唄でやる

土佐はよいとこ魚梁瀬の山にや、酒の香もする杉もある
鯨潮吹く室戸の沖で、会うたあの船忘らりよか

土佐の海では珊瑚がそだつ、うたへば珊瑚もよくそだつ
御国おもへば心がをどる、龍馬思へば血がをどる

薩摩おろしは陽気な風よ、踊れをどれと吹いて来た
踊ろをどろよ土佐酒酌んで、酔うて音頭をひとをどり

（作曲・編曲　田村しげる、歌　浅草美ち奴）

◆問い合わせ先　吉井勇記念館　☎58・2220